

## 長期実践型インターンシップ実施ガイドライン

2018年6月1日

NPO法人JAE

### ■本ガイドラインの背景

- ・日本で本格的にインターンシップが実施され始めたのは1997年。20年以上が経過し、インターンシップに取り組む企業、参加する学生は年々増加しています。
- ・その中で、インターンシップという名目のもと、安価な労働力として学生を使おうとする企業も増えていきます。また、そのような悪意が無くても、企業と学生の立場の差から、一方的に学生が不利益を被るケースも発生しています。
- ・当団体では、過去15年間で150社800名の長期実践型インターンシップのサポートを行ってきました。その経験を踏まえ、学生、企業が双方にとって意義のあるインターンシップとするために重視すべきポイントを、ガイドラインとして整備しました。

### ■長期実践型インターンシップの定義

- ・インターンシップ：  
学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと  
※「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」から抜粋
- ・長期：1ヶ月～6ヶ月（短期は1～2週間）
- ・実践型：見学や同行にとどまらず、実際の企業で行われるプロジェクトにメンバーとして携わり、実践すること

■当団体が実施する長期実践型インターンシップの特徴

- ・当団体のコーディネーターは、学生に企業を紹介するだけでなく、双方にとって参加した意義が生まれるように、事前の準備や実施中、事後のサポートをしています。
- ・具体的には、参加学生ひとりひとりの関心や課題意識を踏まえ、目的・目標を設定し、受入企業にもそれを把握したうえで、日々の対応や任せるプロジェクト、役割などについて柔軟に対応いただけるよう、学生・企業両者の橋渡しをしています。

・双方にとって意義のあるインターンシップにするために、当団体が実施すること

<p>実施 前</p>	<p><b>【企業】</b></p> <p>①<b>インターンシッププログラムの設計（目的、期間、研修目標）</b> 危険な活動に携わることがないか、目的なく単純作業の繰り返しになっていないか、学生にとって適切な難易度か、プログラム内容をチェックします。</p> <p><b>【学生】</b></p> <p>②<b>参加を希望する学生に対しての個別面談</b> 学生と個別に面談を行い、インターンシップへの参加目的や、興味関心、課題意識を把握した上で、適切なインターンシッププロジェクトを紹介しています。 参加にあたっては、インターンシップのプログラム内容、得られる経験や身につけられる力、必要とされる力、参加条件などを伝えます。</p>
<p>実施 中</p>	<p><b>【企業】</b></p> <p>③<b>受入企業内でのインターン生の指導体制の確立</b> 企業側が、日々の業務が忙しすぎてインターン生に関われないという状況にならないように、期間中にインターン生を直接指導したり、社内環境を整える役割を担う担当者を設定してもらいます。</p> <p><b>【学生】</b></p> <p>④<b>事前・中間研修の実施</b> 全社共通に必要なインターンシップの心構えや、スキルアップ、不安点や課題の共有と解消を目的に研修を実施します。 各社ごとの活動に必要な研修は各社で実施します。</p> <p>⑤<b>インターン生に対する個別の指導</b></p>

	<p>日毎の活動報告や個別面談を通して、現在の状況確認と、今後どう取り組んでいくべきなのかについて、指導を行います。</p>
<p>実施 後</p>	<p><b>【学生】</b></p> <p><b>⑥修了面談および事後研修</b></p> <p>プロジェクトの達成度や、学生自身が活動を通じて学んだことの整理、今後の学生生活にどう活かしていくかを明確にします。</p>

#### ■ 受入企業を選定する基準

以下の基準に基づいて、インターンシップ受入に適切な企業かどうかを判断しています。

- ・本ガイドラインの長期実践型インターンシップを実施する目的や趣旨に理解があるか
- ・法令違反（特に労働関係）で処罰されていないか
- ・学生にとって意義のあるプログラム内容が組めるかどうか
- ・インターン生への十分な指導体制が確立できるかどうか

#### ■ 給与の有無

- ・当団体が実施する長期実践型インターンシップでは、給与は発生しません。アルバイトの場合は「労働」の対価として給与が発生しますが、「労働」ではなく、あくまで「研修」として実施するからです。
- ・「研修」としての効果を保つため、「双方にとって意義のあるインターンシップにするために、当団体が実施すること」「受入企業を選定する基準」をもとにプログラムを運営しています。
- ・ただし、インターン生に実費分の交通費の支給や活動支援金という形で助成するケースはあります。

#### ■ 学校との両立

- ・2ヶ月以上の期間実施するプログラムでは、学業との両立が求められます。
- ・その場合、あくまで学業が最優先である、という考え方は企業側にも事前に伝え、理解を

得ています。

#### ■社会人としての振る舞い

- ・学業を優先する場合でも、無断で遅刻・欠席をする、約束したことを守れない、などといったことがあると、信頼関係を損ねることにつながります。
- ・社会人としての最低限のルールを守ることをお願いしています。

#### ■大学との関わり

- ・当団体が実施する長期実践型インターンシップは、基本的には個人個人が大学とは関係なく、自主的に参加するプログラムとなっています。
- ・ただし、一部の大学では、このようなインターンシップへの参加が単位として認定される場合もあります。

#### ■何かあった時／気になることがある時には

- ・長期実践型インターンシップは、慣れない活動（調査、企画、提案、広報など）に携わるため、参加する学生にとっては負荷がかかります。また、企業が良かれと思ってかけた言葉や行動が学生にとってプレッシャーや負担になる場合もあります。
- ・過剰に負荷がかかりすぎないように実施期間中も注視はしていますが、周囲から見て様子がおかしい、という場合は、当団体まで速やかにご連絡ください。
- ・状況を把握し、対応をさせていただきます。

#### ■問い合わせ先

NPO法人JAE 長期実践型インターンシップ運営事務局 担当：澤田

TEL：06-6131-3573

MAIL：univ@jae.or.jp